

支援者「不安大きい」

地元議員は反応冷ややか

相防災相
池元加
鴻党参
新党

与謝野警元財務相らが立ち上げる新党への参加検討を理由に5日、自民党を離党する意向が明らかになった鴻池祥肇参院議員。支援者からは戸惑

いの声上がる一方、兵庫県選出の自民党所属議員の中には「予想の範囲内」との冷ややかな見方が目立った。

(一面参照)

神戸市中央区にある鴻池氏の地元事務所では、男性秘書が「本人から何の連絡もない。確認できていない」と戸惑った。また、鴻池氏を支援する

西宮青年会議所元役員男性は「保守という共通理念はあるが、新党がどこへ向かうのか判然としない。期待より不安が大きい」と話す。

今夏に改選を迎える自民党の末松信介参院議員「兵庫選挙区」は「勉強会などで(新党を)結成する(平沼さんと鴻池さん)はつながりがあるが、与謝野さんに共鳴しての離党とは考えにくい。どんな(理念の)旗を立てるのか」と疑問を投げかけた。

けた。

また昨年5月のスキャンダルで、鴻池氏を除籍した自民党兵庫県連の五男社幹事長は「離党は予想の範囲内」と冷静に受け止める。ただ、参院選に向けては、鴻池氏の阪神間での根強い支持を拳打て「影響は避けられない」と危惧する。

い」と危惧する。

一方、参院選兵庫選挙区で2人を立てる方針の民主党。同党県連選挙対策委員長の梶原康弘衆院議員「兵庫5区」は「県内では参院選への影響は大きくなる」として「自民党の溶解は今後も続くとはいえない」と指摘した。